

2025年3月期 決算説明会



クラウン（エステート）

2025年5月8日
トヨタ自動車株式会社

将来予測・インサイダー取引について

本資料には、当社（連結子会社を含む）の見通し等の将来に関する記述が含まれております。これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報を基礎とした判断および仮定に基づいており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、将来における当社の実際の業績と大きく異なる可能性があります。なお、上記の不確定性および変動可能性を有する要素は多数あり、以下のようなものが含まれます。

- 日本、北米、欧州、アジアおよび当社が営業活動を行っているその他の国の自動車市場に影響を与える経済情勢、市場の需要ならびにそれらにおける競争環境
- 為替相場(主として日本円、米ドル、ユーロ、豪ドル、加ドルおよび英国ポンドの相場)、株価および金利の変動
- 金融市場における資金調達環境の変動および金融サービスにおける競争激化
- 効果的な販売・流通を実施する当社の能力
- 経営陣が設定したレベル、またはタイミングどおりに生産効率の実現と設備投資を実施する当社の能力
- 当社が営業活動を行っている市場内における法律、規制および政府政策の変更で、特にリコール等改善措置を含む安全性、貿易、環境保全、自動車排出ガス、燃費効率の面などにおいて当社の自動車事業に影響を与えるもの、または現在・将来の訴訟やその他の法的手続きの結果を含めた当社のその他の営業活動に影響を与える法律、規制および政府政策の変更など
- 当社が営業活動を行っている市場内における政治的および経済的な不安定さ
- タイムリーに顧客のニーズに対応した新商品を開発し、それらが市場で受け入れられるようにする当社の能力
- ブランド・イメージの毀損
- 仕入先への部品供給の依存
- 原材料価格の上昇
- デジタル情報技術および情報セキュリティへの依存
- 当社が材料、部品、資材などを調達し、自社製品を製造、流通、販売する主な市場における、燃料供給の不足、電力・交通機能のマヒ、ストライキ、作業の中断、または労働力確保が中断されたり、困難である状況など
- 生産および販売面への影響を含む、自然災害および感染症の発生・蔓延、不安定な政治・経済、燃料供給の不足、社会基盤の障害、戦争、テロ、ストライキなどによる様々な影響
- 気候変動および低炭素経済への移行の影響
- 有能で多様な人材を確保・維持する能力

以上の要素およびその他の変動要素全般に関する追加情報については、当社の有価証券報告書または米国証券取引委員会に提出された年次報告書(フォーム20-F)をご参照ください。

インサイダー取引に関するご注意：

企業から直接、未公開の重要事実の伝達を受けた投資家（第一次情報受領者）は、当該情報が「公表」される前に株式売買等を行うことが禁じられています（金融商品取引法166条）。

同法施行令により、二以上の報道機関に対して企業が当該情報を公開してから12時間が経過した時点、または、証券取引所に通知し

かつ内閣府令で定める電磁的方法（TDnetの適時開示情報閲覧サービス）により掲載された時点をもって「公表」されたものとみなされます。

強い経営基盤をベースに、未来への投資を継続推進

25年3月期
実績

営業利益：4.8兆円

- 未来に繋がる総合投資や足場固めの取り組みを進めながら、価格改定効果や、バリューチェーン収益の拡大などの改善努力を着実に積み上げ、高水準の利益を確保
- 仕入先・販売店を含め全てのステークホルダーの皆さまに感謝

26年3月期
見通し

営業利益：3.8兆円

- 足場固めの成果を取り込みつつ、中長期視点での総合投資を継続し、経営基盤の強化と将来の収益の柱を育成
- 米国の関税影響は、4・5月分の影響見込みを暫定的に織り込み

株主還元

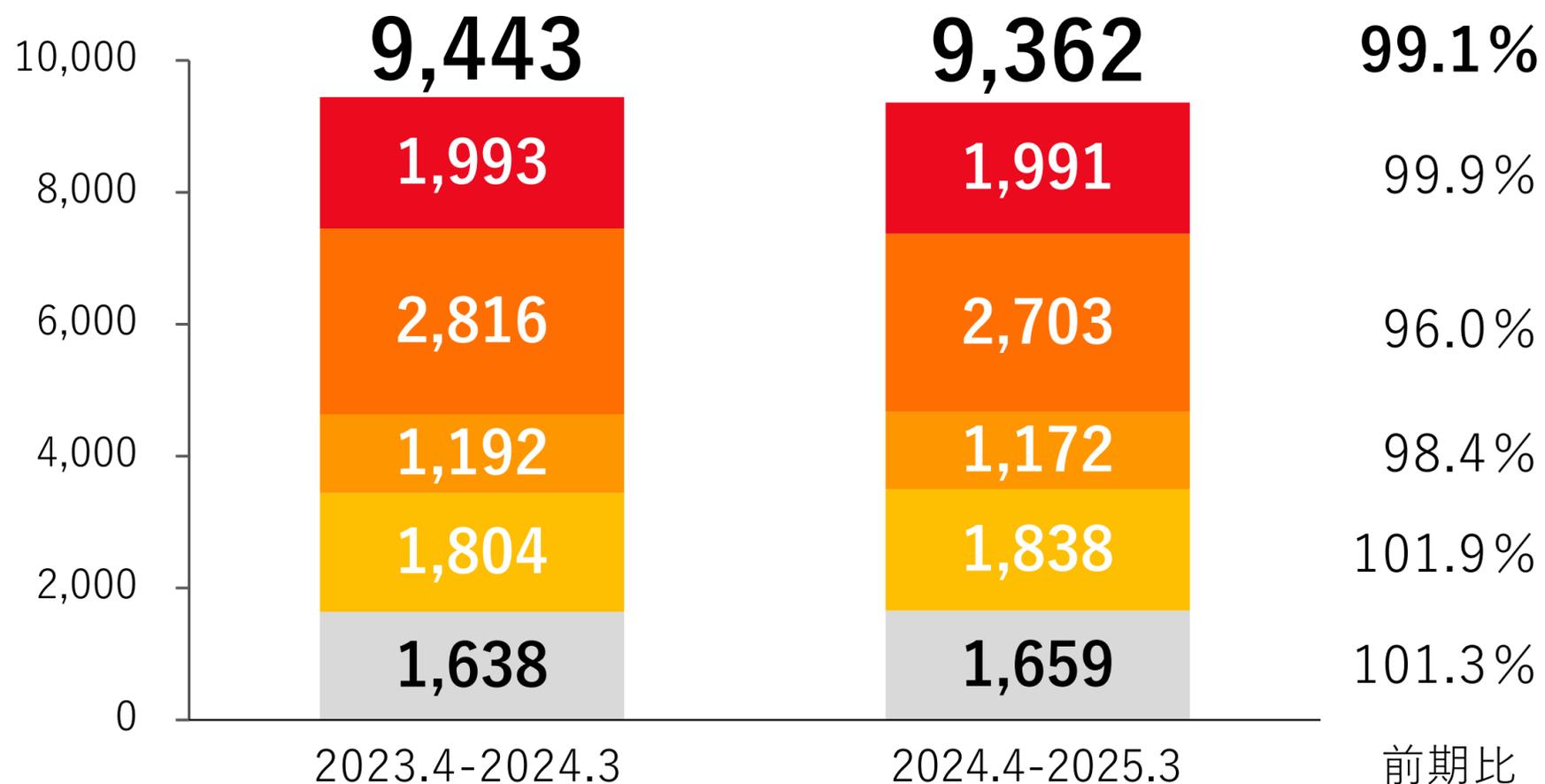
配当 25/3期 : 年間90円 (+15円)、期末50円 (+5円)
26/3期予想 : 年間95円 (+5円)

- 減益の中でも長期保有の株主の皆さまに報いる安定増配の方針を堅持

2025年3月期 実績

連結販売台数

(単位：千台)



- 日本
- 北米
- 欧州
- アジア
- その他
 - ・中南米
 - ・オセアニア
 - ・アフリカ
 - ・中東など

ご参考 (小売)

トヨタ・レクサス販売台数	10,309	10,274	99.7%
電動車 [比率]	3,855 [37.4%]	4,748 [46.2%]	123.2%
内、HEV	3,594	4,441	123.6%
PHEV	141	161	114.3%
BEV	117	145	123.9%
FCEV	4	1	36.4%
グループ総販売台数	11,090	11,011	99.3%

連結決算要約

TOYOTA

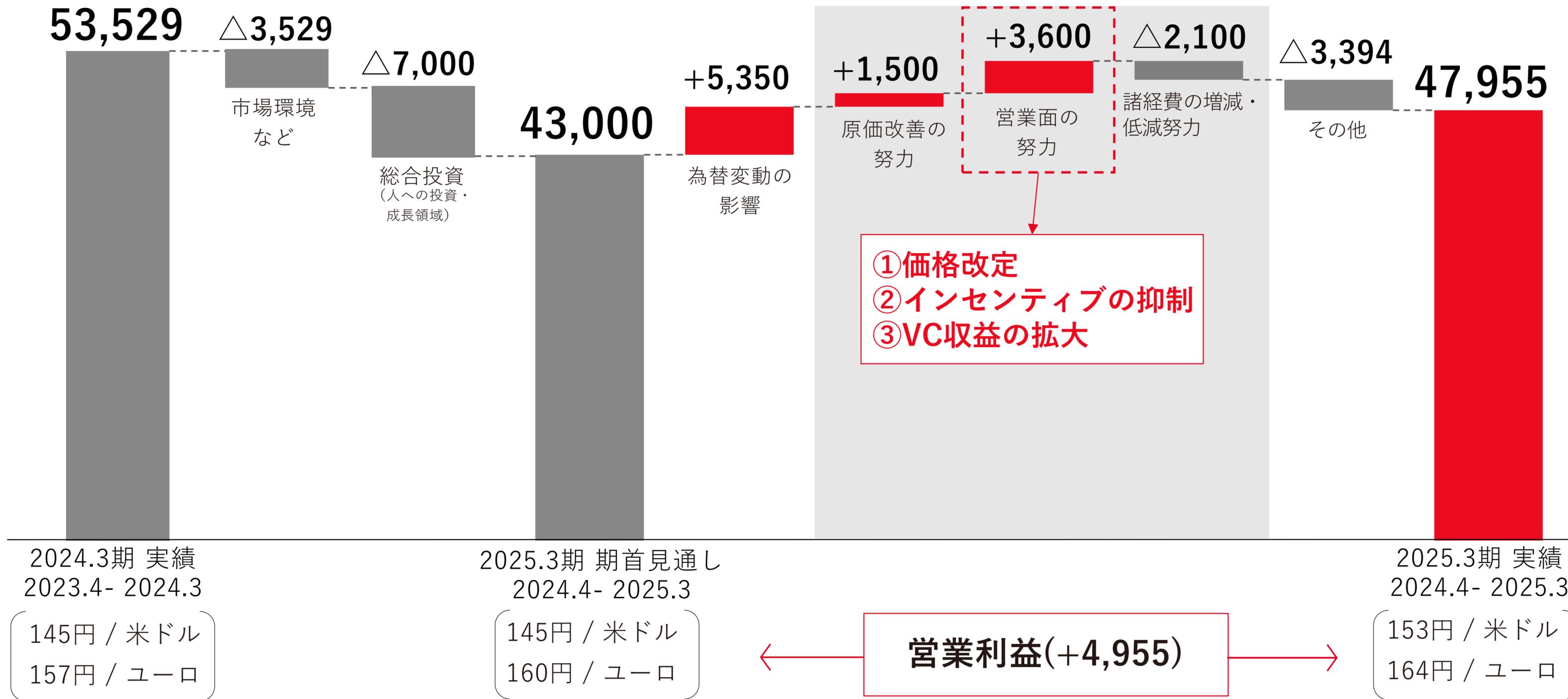
(単位：億円)		2023.4-2024.3	2024.4-2025.3	増減
営業収益		450,953	480,367	+29,413
営業利益		53,529	47,955	△5,573
営業利益率		11.9%	10.0%	
営業外損益		16,121	16,190	+68
持分法による投資損益		7,631	5,912 *	△1,719
税引前利益		69,650	64,145	△5,504
親会社の所有者に帰属する当期利益		49,449	47,650	△1,798
当期利益率		11.0%	9.9%	
為替レート	米ドル	145円	153円	8円円安
	ユーロ	157円	164円	7円円安

* うち、日本4,070（前期比△60）、中国1,069（同△1,619）、その他771（同△39）

連結営業利益増減要因 (期首見通し差)

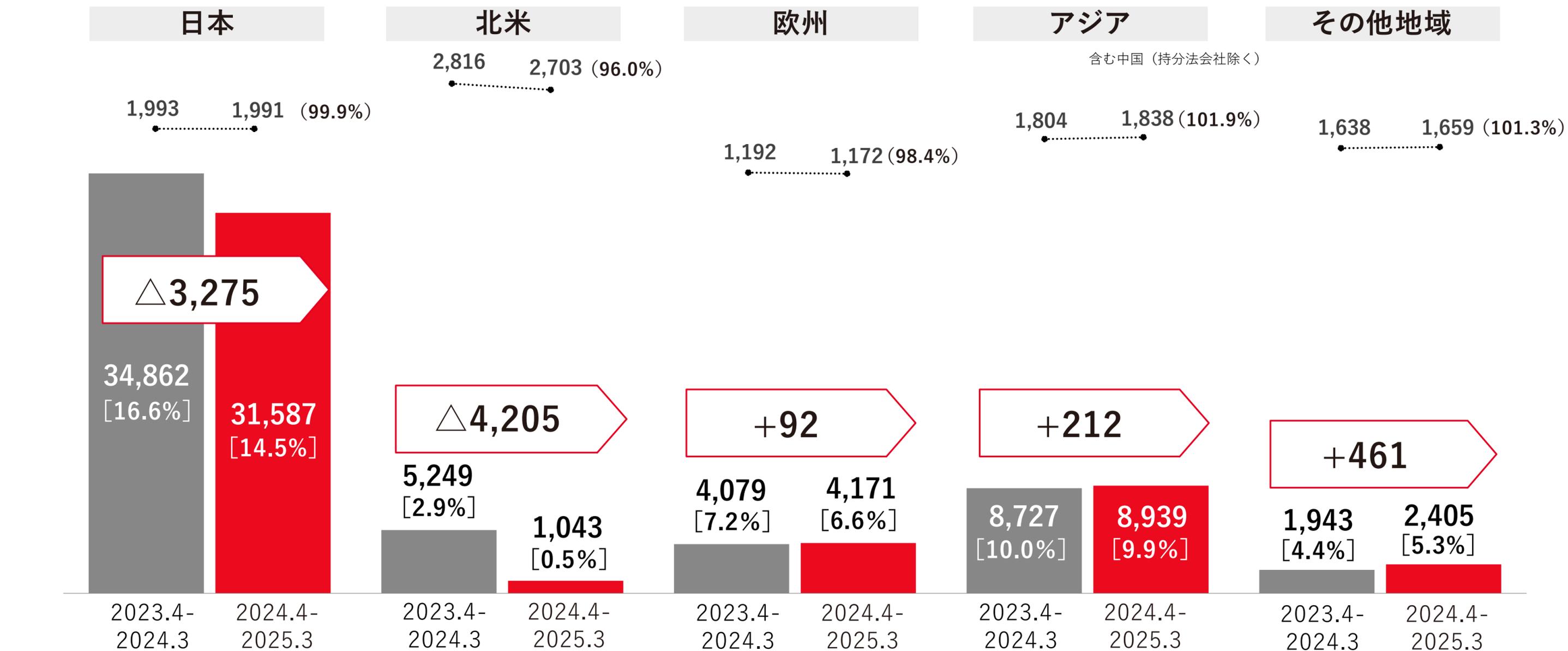
(単位：億円)

為替・スワップ等の影響除き： +3,000



所在地別営業利益

■ 営業利益（億円） <金利スワップ取引などの評価損益を除く> [] 営業利益率 ●.....● 連結販売台数（千台）



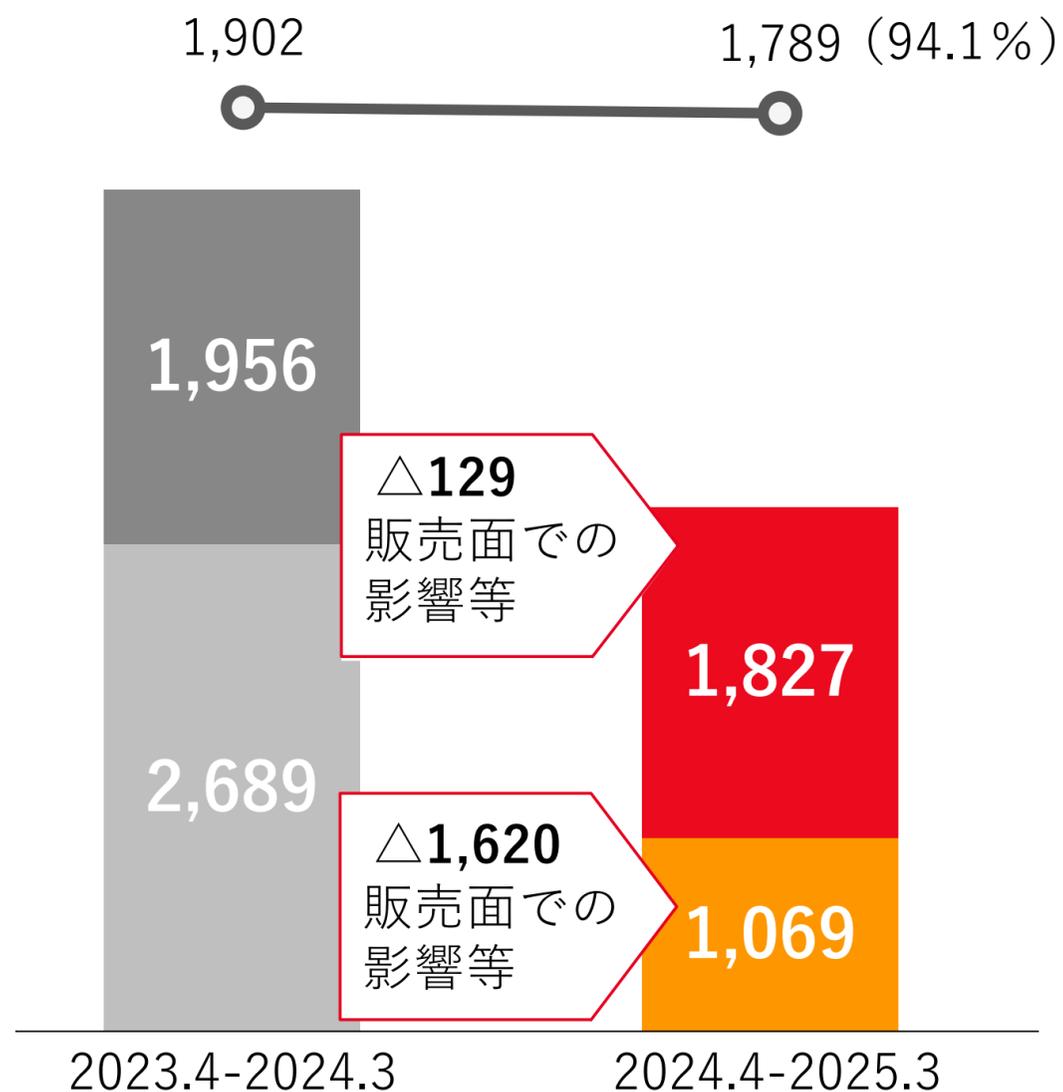
金利スワップ取引などの評価損益を含む営業利益（億円）

34,842	31,511	5,063	1,088	3,880	4,155	8,655	8,965	1,983	2,526
--------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

中国事業/金融セグメント

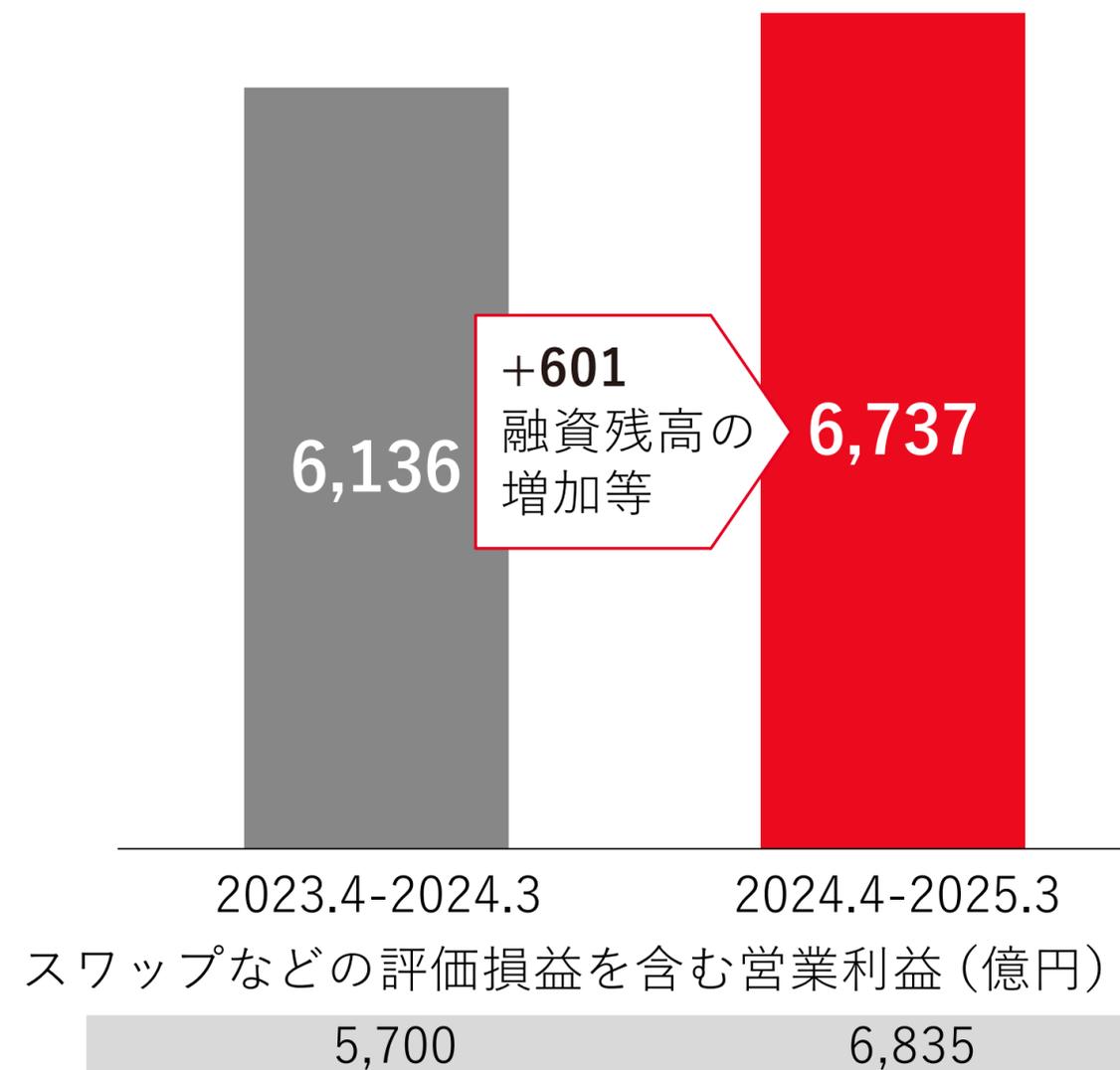
中国事業（ご参考）

- 連結子会社 営業利益（億円）
- 持分法適用会社 持分法による投資損益（億円）
- トヨタ・レクサス販売台数（千台）



金融セグメント

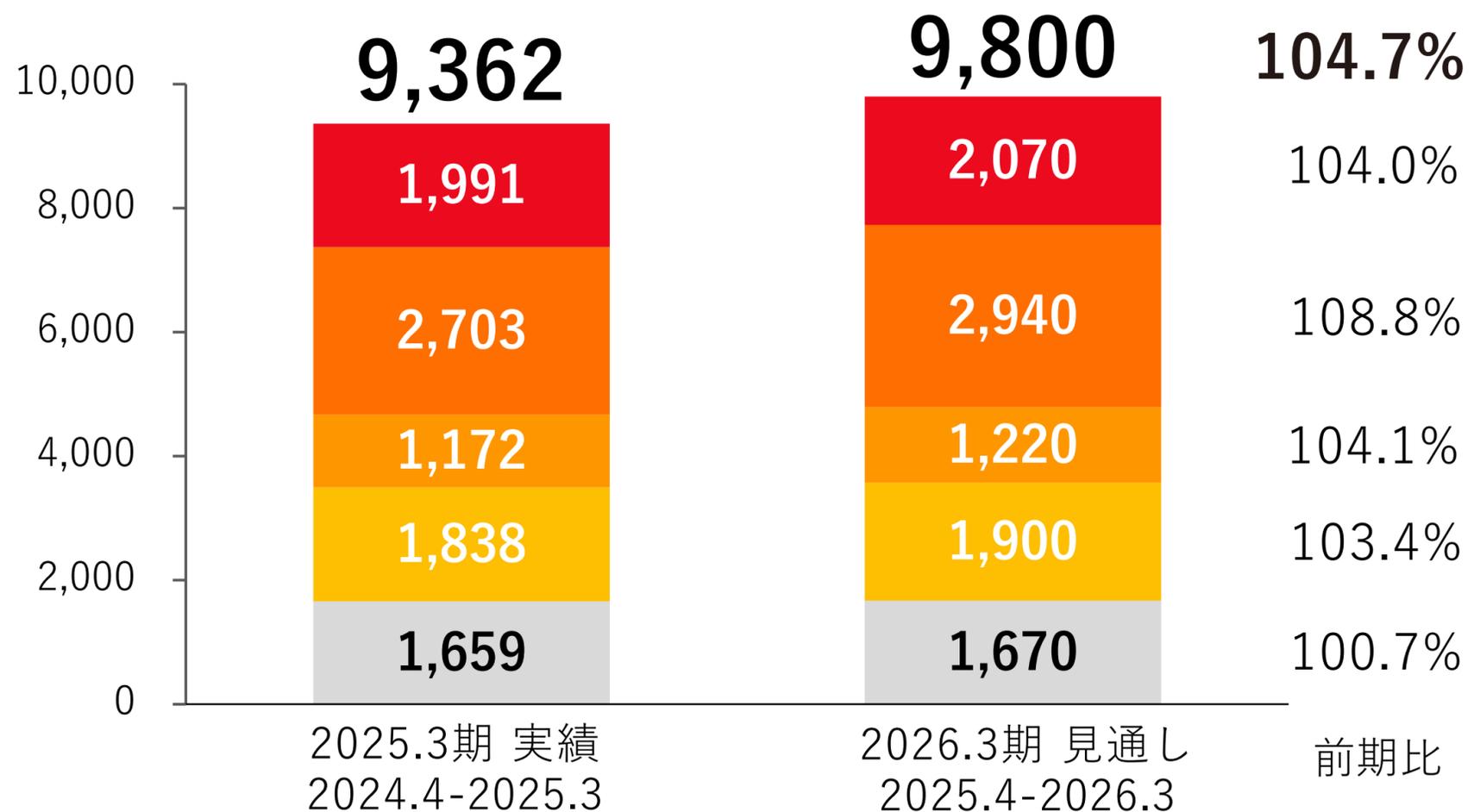
- 営業利益（億円） <スワップなどの評価損益を除く>



2026年3月期 見通し

連結販売台数見通し

(単位：千台)



- 日本
- 北米
- 欧州
- アジア
- その他
 - ・中南米
 - ・オセアニア
 - ・アフリカ
 - ・中東など

ご参考 (小売)

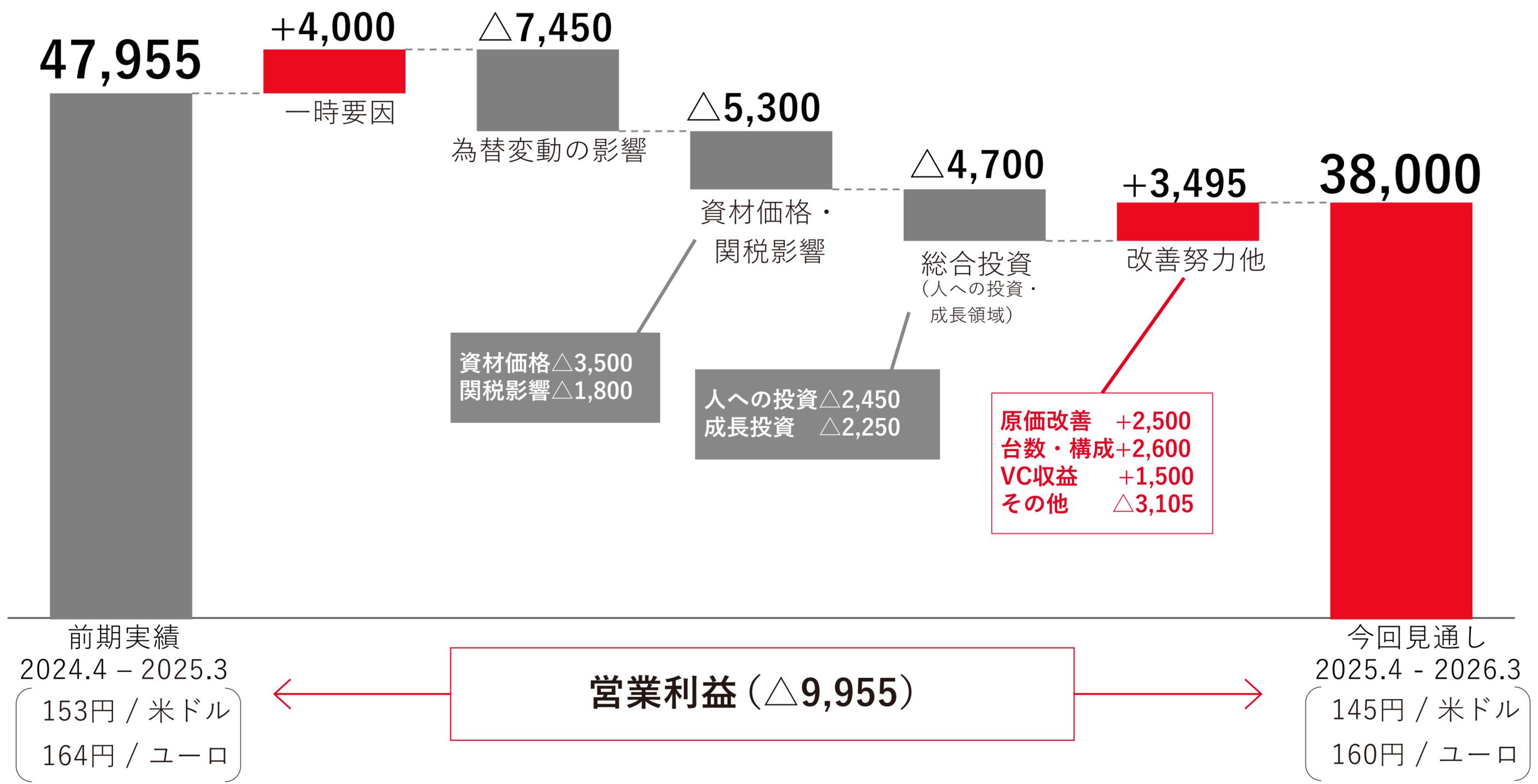
トヨタ・レクサス販売台数	10,274	10,400	101.2%
電動車 [比率]	4,748 [46.2%]	5,184 [49.8%]	109.2%
内、HEV	4,441	4,663	105.0%
PHEV	161	209	129.8%
BEV	145	310	213.8%
FCEV	1	1	100.0%
グループ総販売台数	11,011	11,200	101.7%

連結決算見通し要約

(単位:億円)		2025.3期 実績	2026.3期 見通し	増減
		2024.4-2025.3	2025.4-2026.3	
営業収益		480,367	485,000	+4,633
営業利益		47,955	38,000	△9,955
営業利益率		10.0%	7.8%	
営業外損益		16,190	6,100	△10,090
持分法による投資損益		5,912	6,000	+88
税引前利益		64,145	44,100	△20,045
親会社の所有者に帰属する当期利益		47,650	31,000	△16,650
当期利益率		9.9%	6.4%	
1株当たり配当金		90円	95円	+5円
為替レート	米ドル	153円	145円	8円円高
	ユーロ	164円	160円	4円円高

連結営業利益増減要因（前期差）

（単位：億円）

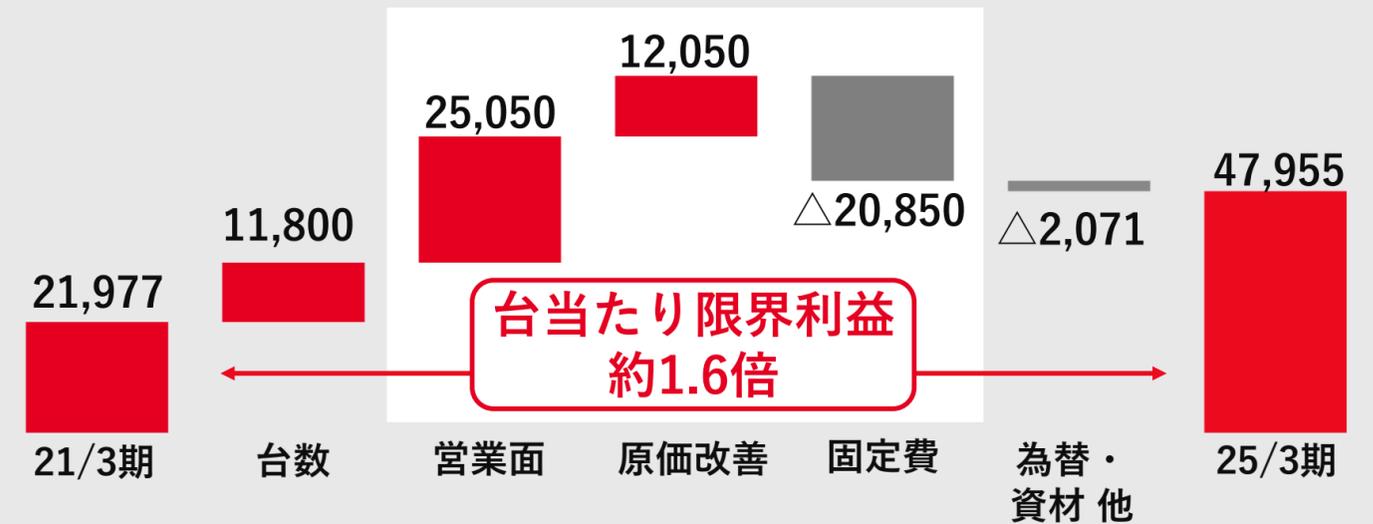


トヨタの収益構造

	09/3期	21/3期	25/3期
連結販売台数	756万台	764万台	936万台
営業利益	△0.4兆円	2.2兆円	4.8兆円
損益分岐台数	09/3期比較で△30%		
ROE	△0.4%	10.2%	13.6%
手元資金	1.5兆円	8.0兆円	14.4兆円

コロナ以降の収益改善

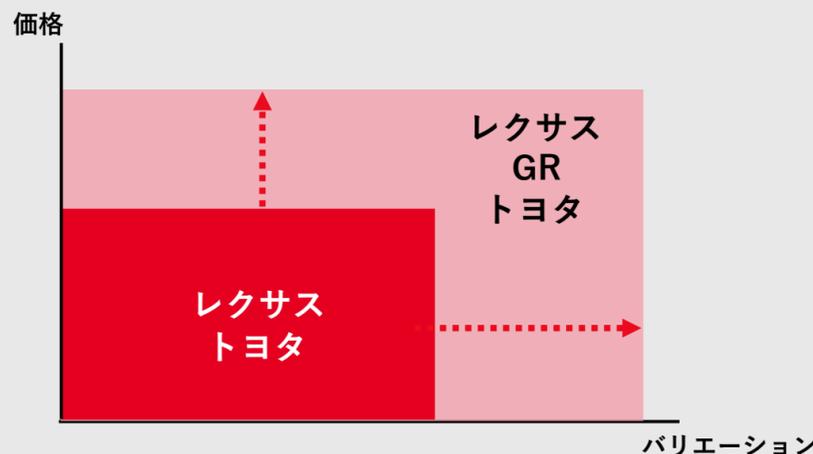
(単位：億円)



原動力①

商品・地域を軸とした経営

価格・バリエーション推移 (イメージ)

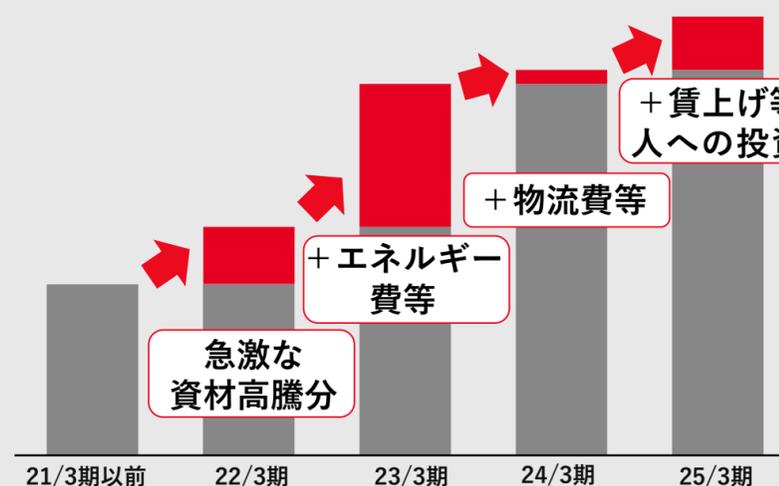


地域に合った
もっといいクルマを
インセンティブを
低減しながら
1台1台丁寧に販売

原動力②

TPS・原価改善・仕入先基盤

コロナ以降の購買額推移



従来の資材高騰分に加え
支援を拡大

22/3期～25/3期累計

3.7兆円*

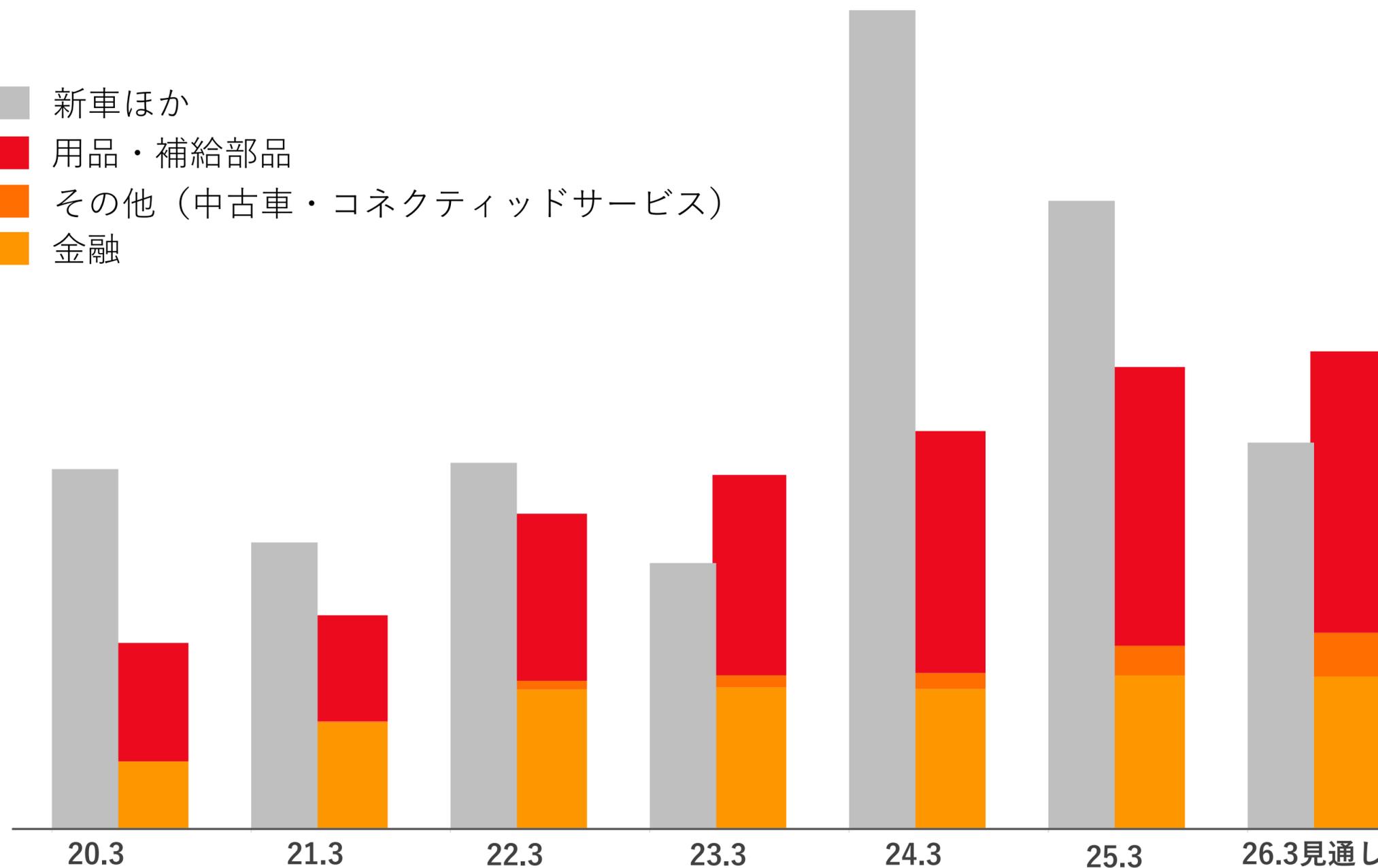
※トヨタ単体計上分

収益のさらなる拡大・安定化

- 保有1.5億台の強みを活かし、より安定的な収益構造へ転換
 –グループビジョン（=次の道を発明しよう）実現のための土台を構築

新車・VC営業利益推移（管理値）

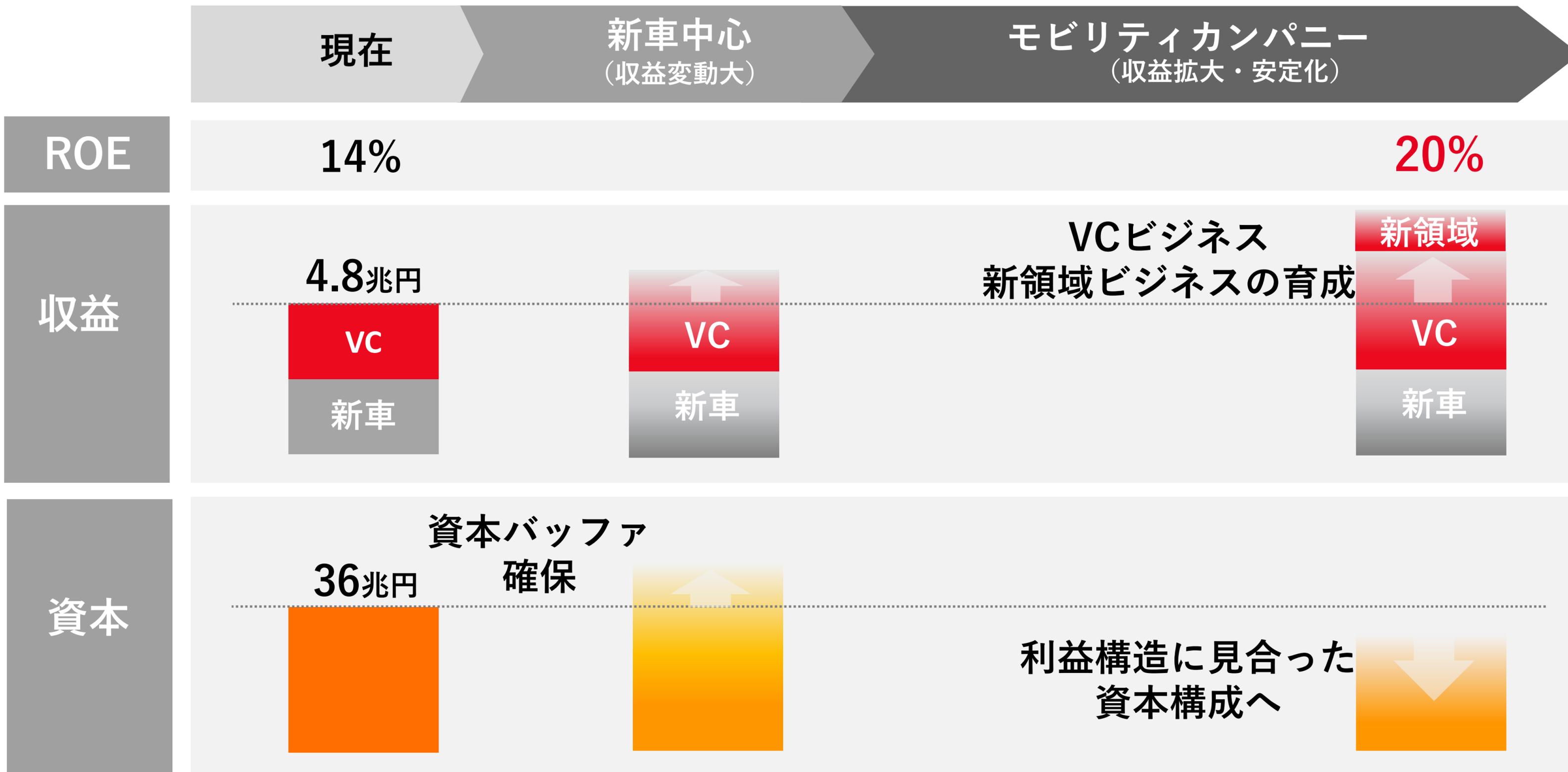
- 新車ほか
- 用品・補給部品
- その他（中古車・コネクティッドサービス）
- 金融



- ・ SDVの活用
- ・ Woven City

- ・ メンテナンスサービスの拡充
- ・ コネクティッド技術の活用
- ・ 中古車・用品事業の拡大

モビリティカンパニーへの変革：ROE20%



株主還元

配当・配当予想

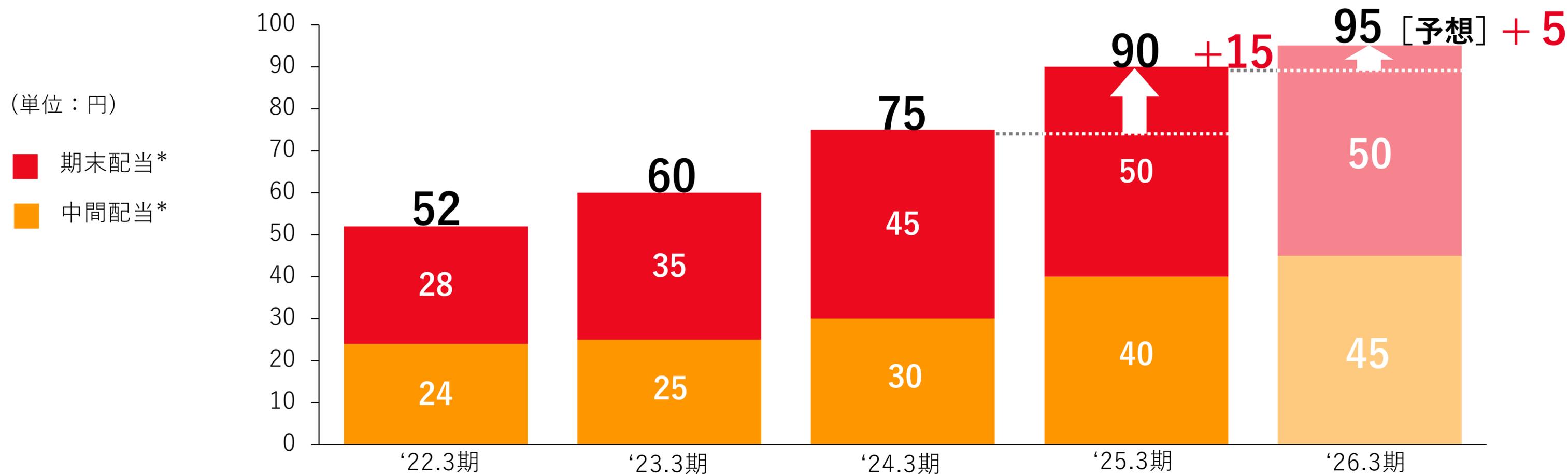
■ 長期に当社株式を保有いただく株主の皆様に報いるため

『**安定的・継続的に増配を実施**』

■ 25年3月期 年間：**90円**（前期比+15円）、期末：**50円**（前期比+5円）

■ 26年3月期予想 年間：**95円**（前期比+5円）

関税影響など業績が見通しにくい状況ではあるが、増配は継続

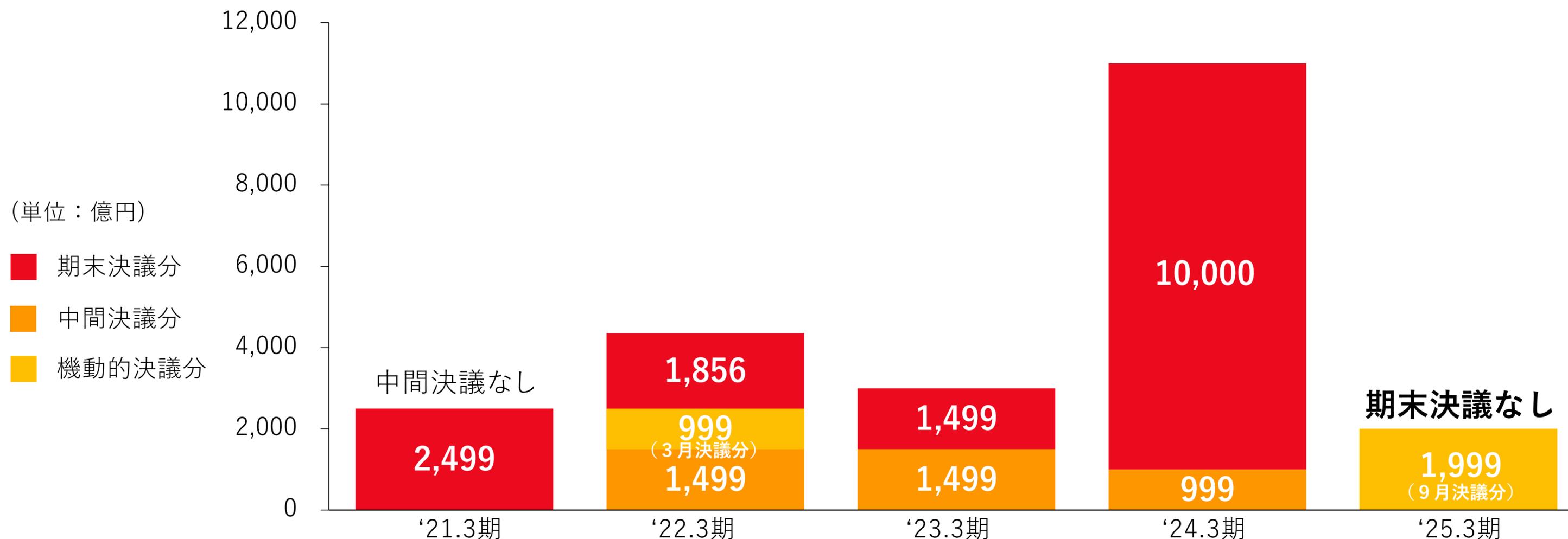


期間	項目	'22.3期	'23.3期	'24.3期	'25.3期	'26.3期
中間	配当総額 (億円)	3,324	3,421	4,054	5,259	-
	年間配当総額 (億円)	7,182	8,169	10,117	11,784	-

* 2021年10月1日に当社普通株式1株につき5株の割合で株式分割を実施。'22.3期の期首に当該分割が行われたと仮定して算出。

自己株式取得

- 25年3月期 期末取得枠：なし
- 今後、株価水準等を踏まえ、また、必要に応じて当社株式の売却要請に応えるため機動的に実施



自己株式取得	2,499	4,356	2,999	10,999	1,999
配当総額	6,710	7,182	8,169	10,117	11,784
総還元額	9,210	11,538	11,169	21,117	13,784

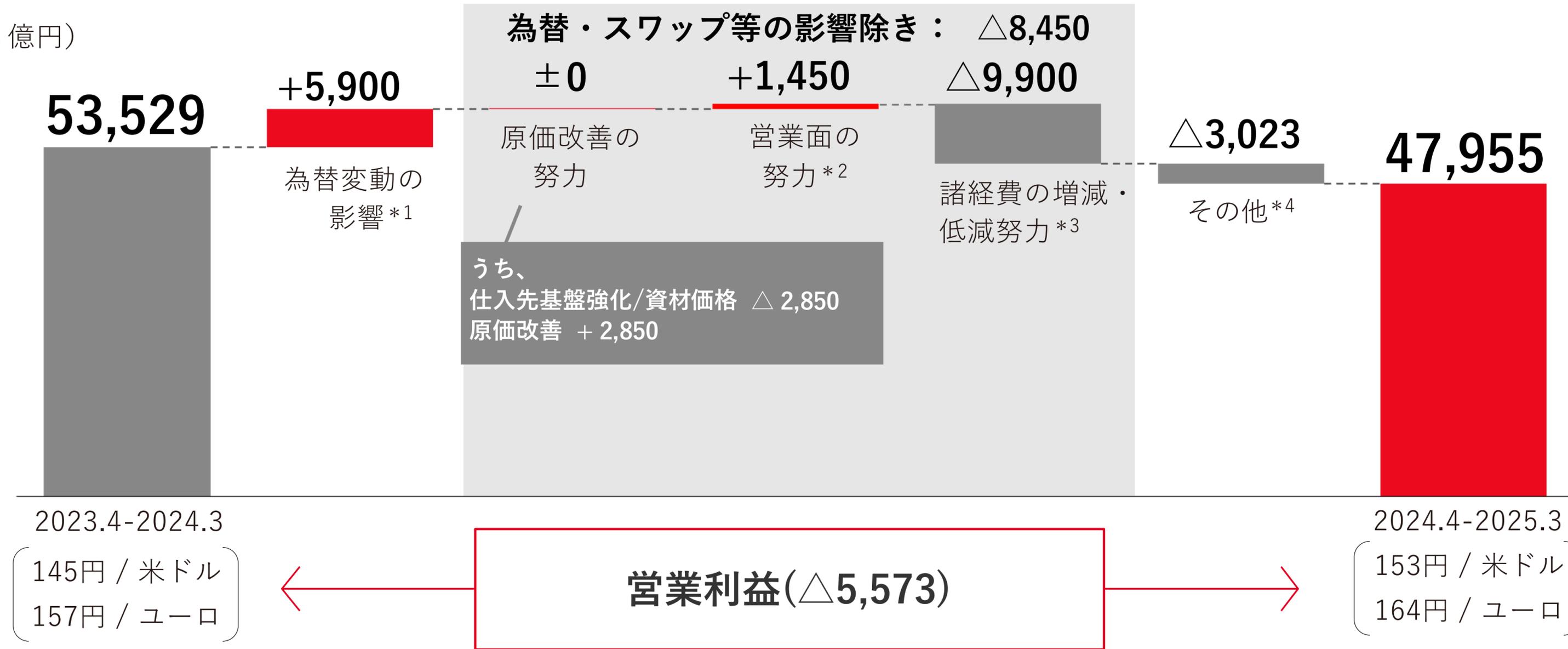
共に成長するサイクル

これからも、ステークホルダーの皆様と共に成長していく



(ご参考) 連結営業利益実績増減要因 (前期差)

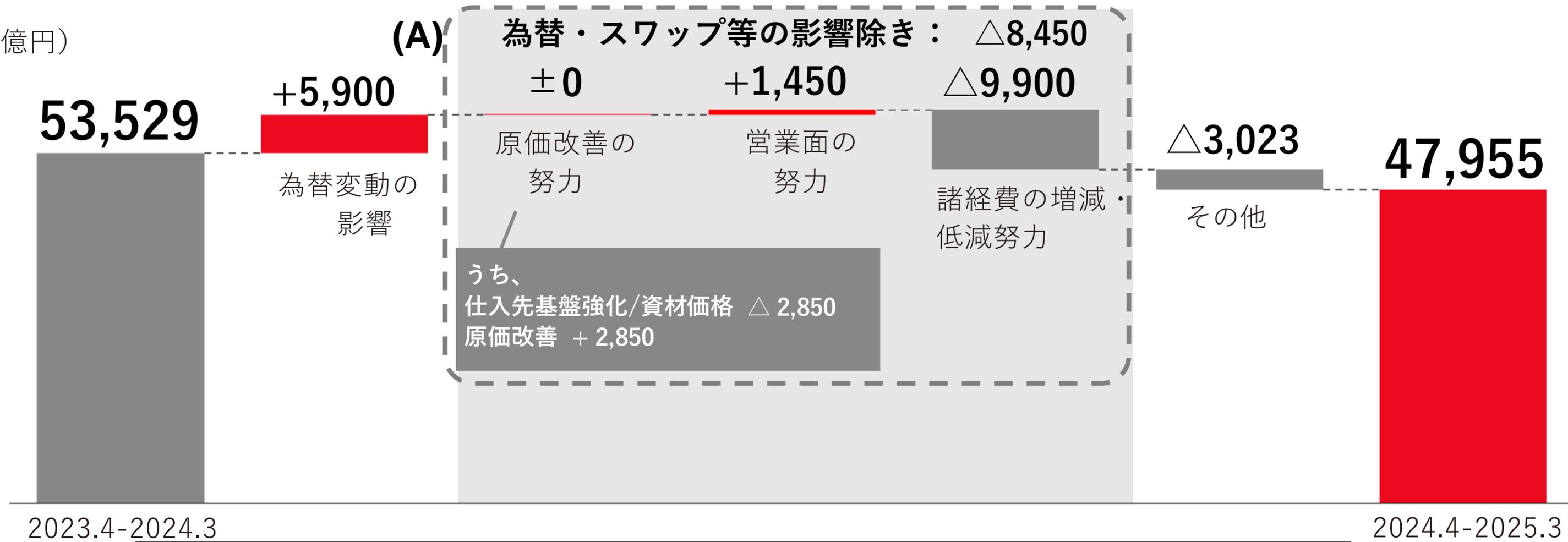
(単位：億円)



*1 内訳		*2 内訳		*3 内訳		*4 内訳	
輸出入等の外貨取引分	+4,150	台数・構成	△200	労務費	△2,350	スワップ等の評価損益	+534
（ - 米ドル	+4,100	バリューチェーン	+1,900	減価償却費	△50	インフレ会計等の影響	+697
（ - ユーロ	+600	（ - 金融事業	+250	研究開発費	△1,300	日野認証関連	△2,805
（ - その他通貨	△550	（ - 補給・用品/中古車/コネクティッドほか	+1,650	経費ほか	△6,200	その他	△1,449
海外子会社の営業利益換算差ほか	+1,750	その他	△250				

(ご参考) 連結営業利益実績増減要因 (前期差)

(単位：億円)



	原価改善の 努力	営業面の 努力	諸経費の増減・ 低減努力	計
①市場環境		△3,529		△3,529
②人への投資	△3,600	△150	△950	△4,700
③成長投資			△2,750	△2,750
(A)から ①②③を控除	+3,600	+5,129	△6,200	+2,529

(ご参考) 連結営業利益見通し増減要因 (前期差)

(単位: 億円)



*1 内訳		*2 内訳		*3 内訳		*4 内訳	
輸出入等の外貨取引分	△7,150	台数・構成	+2,600	労務費	△1,850	スワップ等の評価損益	△100
- 米ドル	△4,000	バリューチェーン	+1,500	減価償却費	△1,750	インフレ会計等の影響	+339
- ユーロ	△350	- 金融事業	+300	研究開発費	△400	日野認証関連	+2,805
- その他通貨	△2,800	- 補給・用品/中古車/コネクティッドほか	+1,200	経費ほか	△3,455	その他	+856
海外子会社の営業利益換算差ほか	△300	その他	±0				

(ご参考) 連結営業利益見通し増減要因 (前期差)

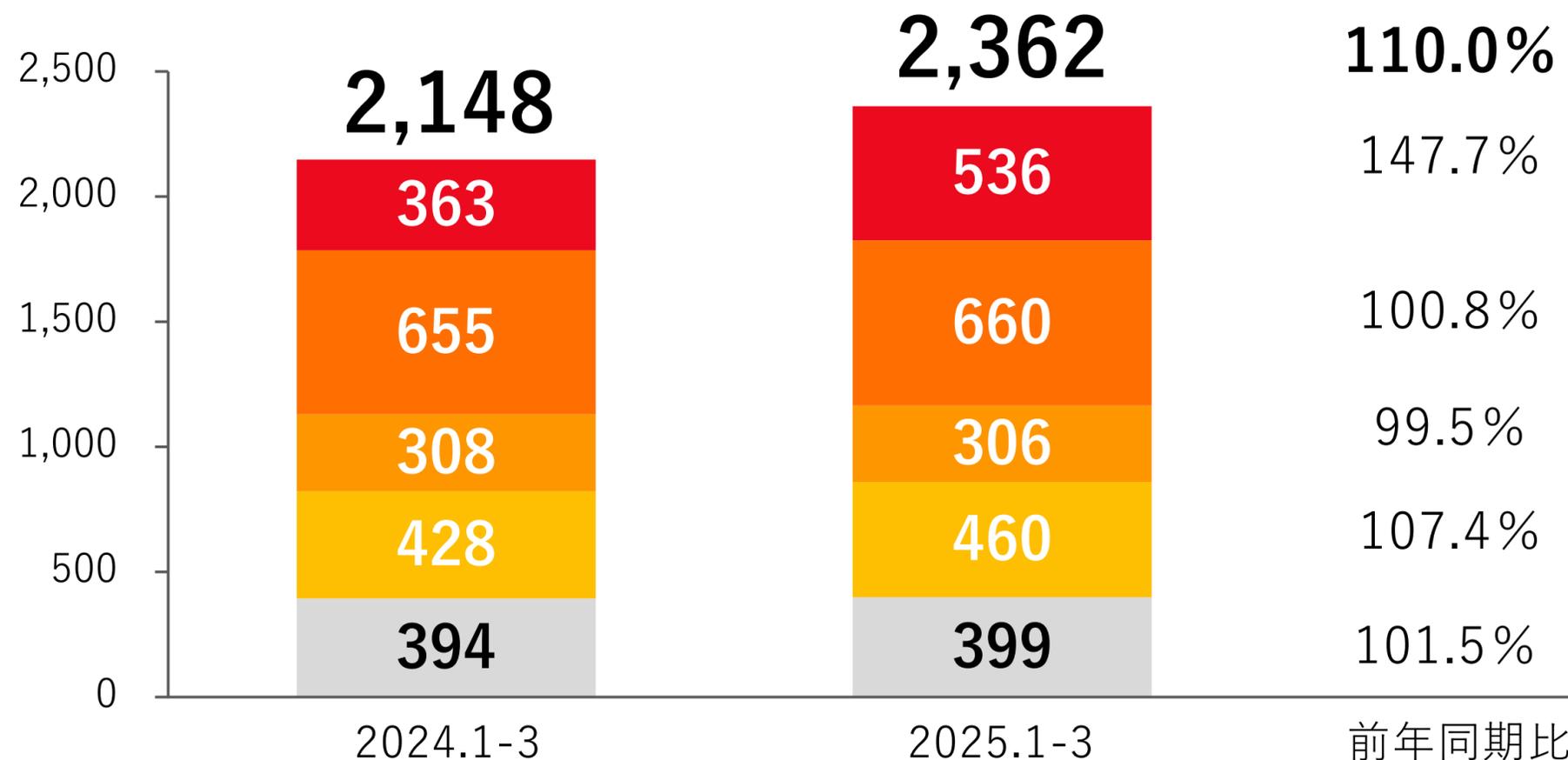
(単位：億円)



	原価改善の努力	営業面の努力	諸経費の増減・低減努力	計
①人への投資	△2,050	△50	△350	△2,450
②成長投資			△2,250	△2,250
(A)から①②を控除	△1,000	+4,150	△4,855	△1,705

(ご参考) 連結販売台数 (3ヶ月)

(単位：千台)



- 日本
- 北米
- 欧州
- アジア
- その他
 - ・中南米
 - ・オセアニア
 - ・アフリカ
 - ・中東など

ご参考 (小売)

トヨタ・レクサス販売台数	2,401	2,516	104.8%
電動車 [比率]	1,018 [42.4%]	1,233 [49.0%]	121.1%
内、HEV	948	1,152	121.5%
PHEV	39	46	118.5%
BEV	30	35	115.3%
FCEV	1	0	46.7%
グループ総販売台数	2,526	2,715	107.5%

(ご参考) 連結決算要約 (3ヶ月)

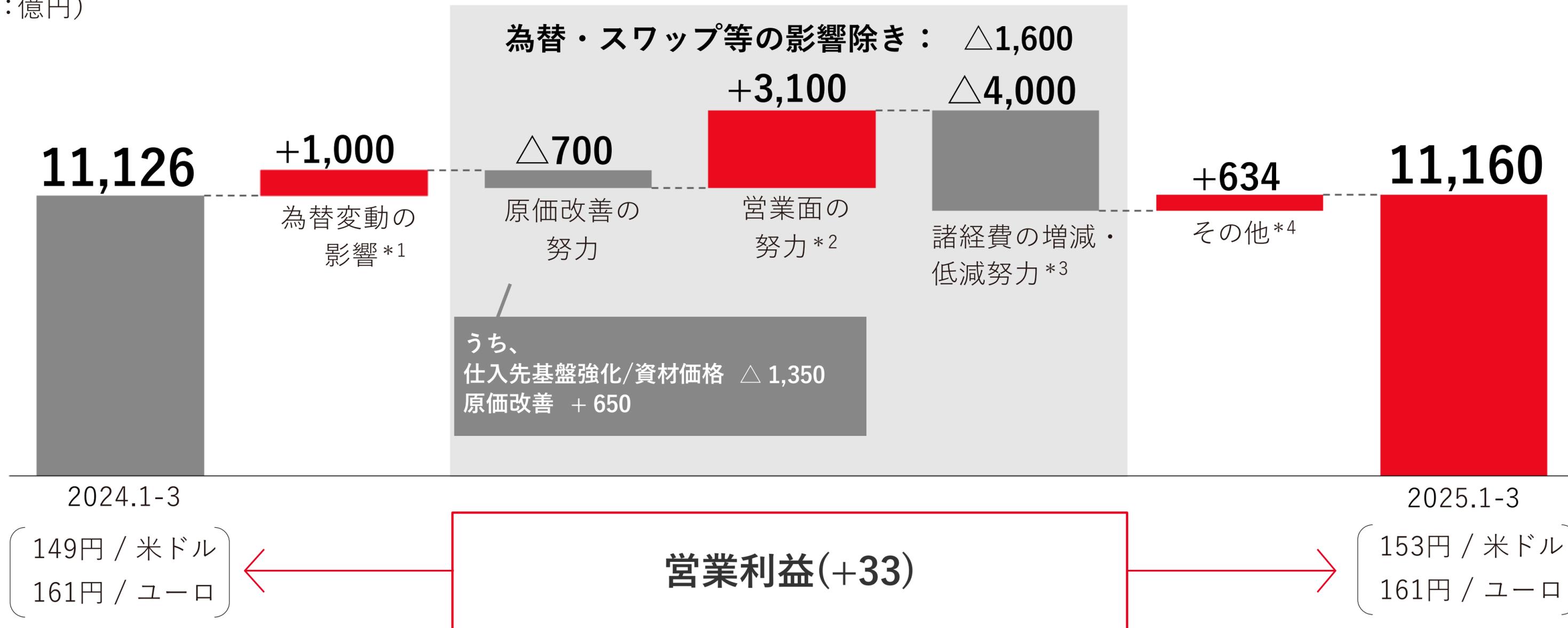
(単位：億円)

	2024.1-3	2025.1-3	増減
営業収益	110,726	123,631	+12,905
営業利益	11,126	11,160	+33
営業利益率	10.0%	9.0%	
営業外損益	4,953	△1,315	△6,269
持分法による投資損益	1,669	1,364*	△304
税引前利益	16,080	9,844	△6,235
親会社の所有者に帰属する当期利益	9,976	6,646	△3,329
当期利益率	9.0%	5.4%	
為替レート			
米ドル	149円	153円	4円円安
ユーロ	161円	161円	±0

* うち、日本784 (前年同期比△118)、中国383 (同△97)、その他196 (同△89)

(ご参考) 連結営業利益増減要因 (3ヶ月)

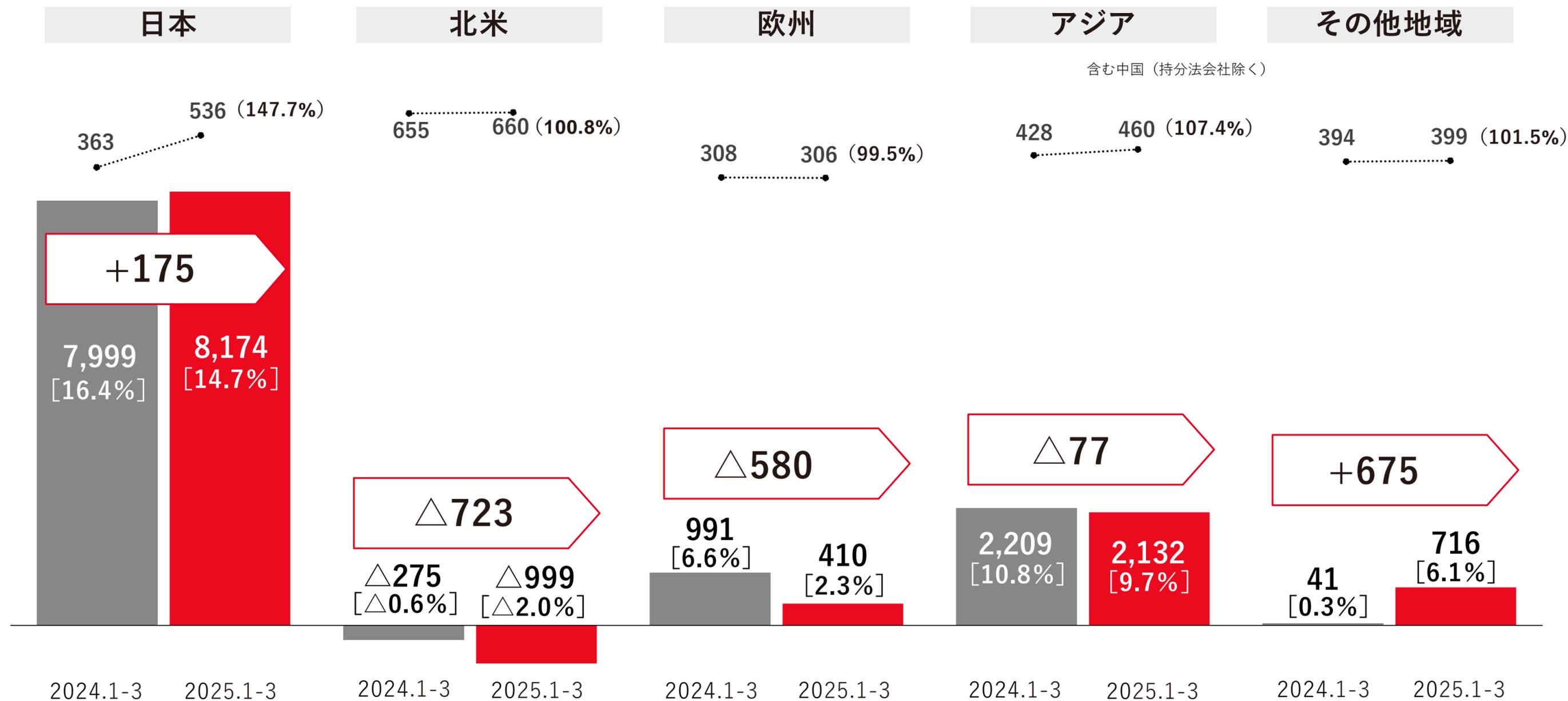
(単位: 億円)



*1 内訳		*2 内訳		*3 内訳		*4 内訳	
輸出入等の外貨取引分	$\Delta 100$	台数・構成	$+3,050$	労務費	$\Delta 200$	スワップ等の評価損益	$+237$
- 米ドル	$+500$	バリューチェーン	$+550$	減価償却費	$+250$	インフレ会計等の影響	$+217$
- ユーロ	$\Delta 50$	- 金融事業	$\Delta 100$	研究開発費	$\Delta 650$	その他	$+180$
- その他通貨	$\Delta 550$	- 補給・用品/中古車/コネクティッドほか	$+650$	経費ほか	$\Delta 3,400$		
海外子会社の営業利益換算差ほか	$+1,100$	その他	$\Delta 500$				

(ご参考) 所在地別営業利益 (3ヶ月)

■ 営業利益 (億円) <金利スワップ取引などの評価損益を除く> [] 営業利益率 ●---● 連結販売台数 (千台)



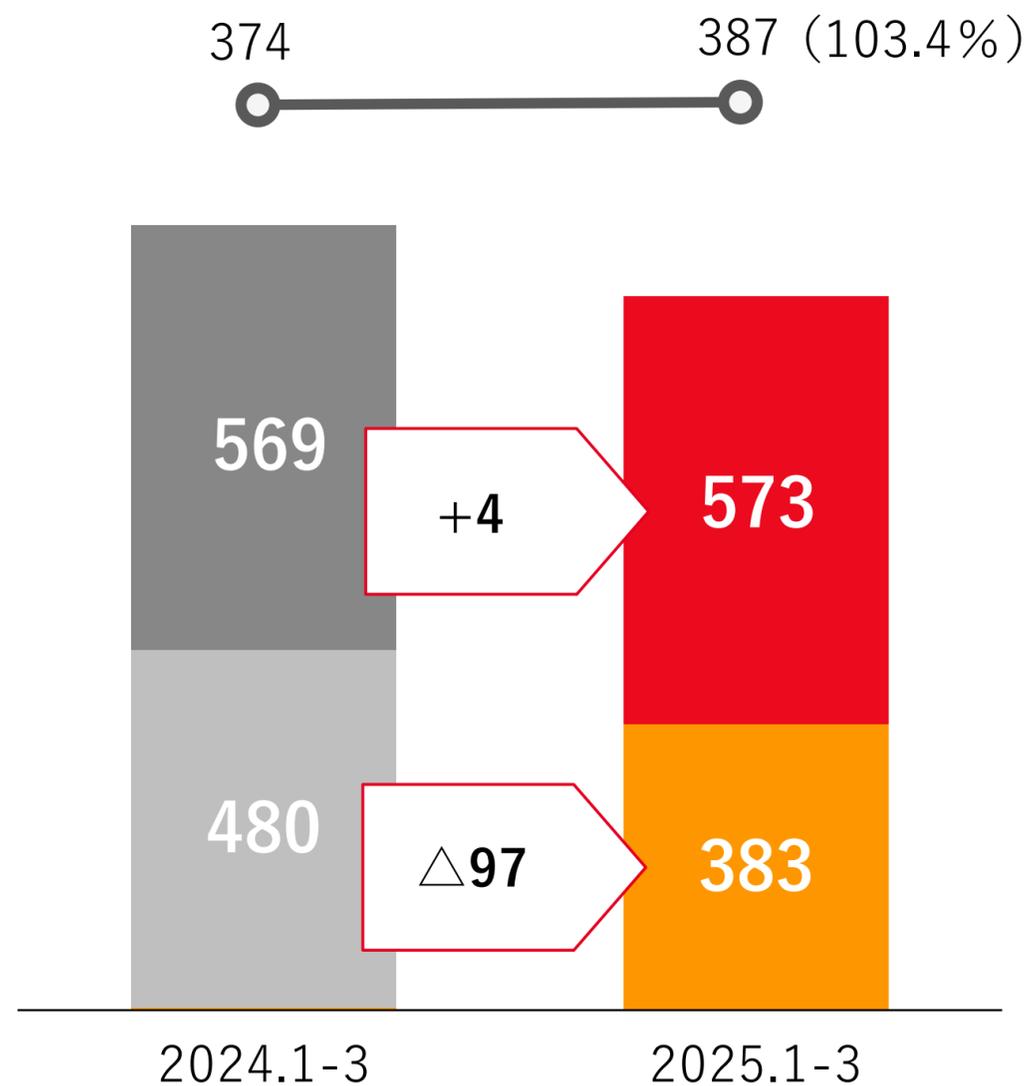
金利スワップ取引などの評価損益を含む営業利益 (億円)

7,990	8,140	△102	△633	1,025	424	2,159	2,112	△6	729
-------	-------	------	------	-------	-----	-------	-------	----	-----

(ご参考) 中国事業/金融セグメント (3ヶ月)

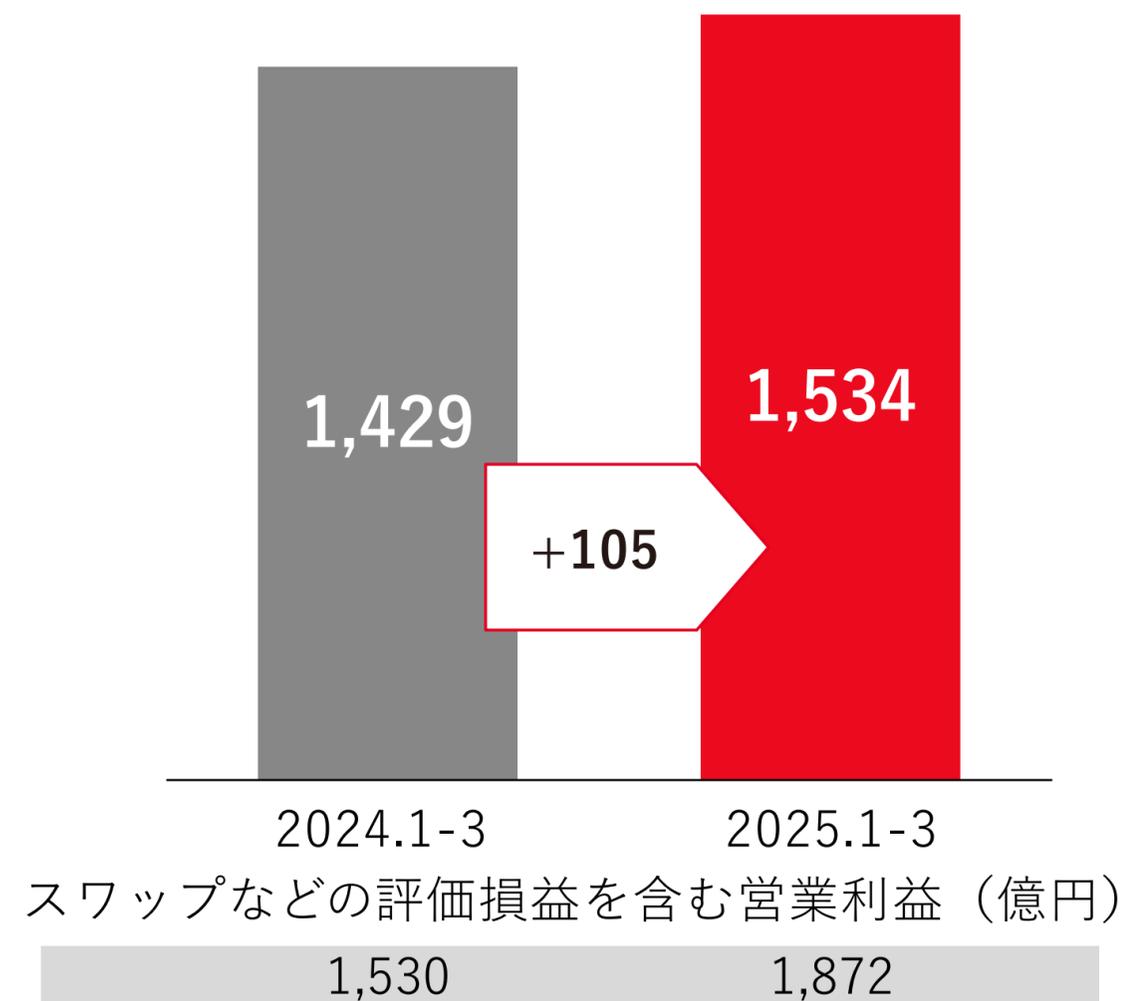
中国事業 (ご参考)

- 連結子会社 営業利益 (億円)
- 持分法適用会社 持分法による投資損益 (億円)
- トヨタ・レクサス販売台数 (千台)



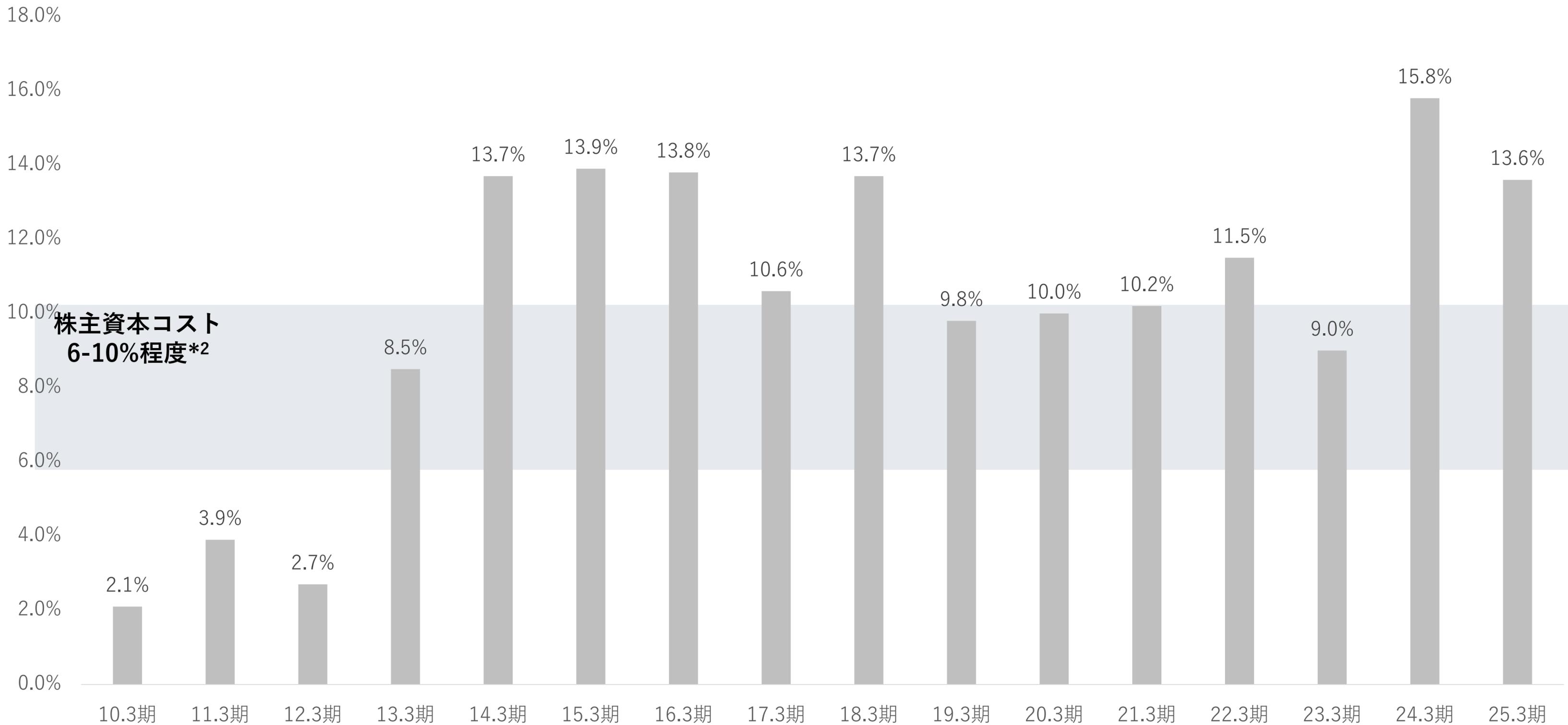
金融セグメント

- 営業利益 (億円) <スワップなどの評価損益を除く>



(ご参考) ROEの推移^{*1}

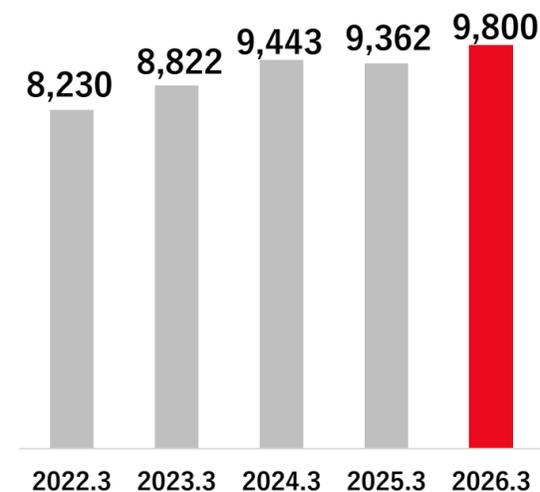
TOYOTA



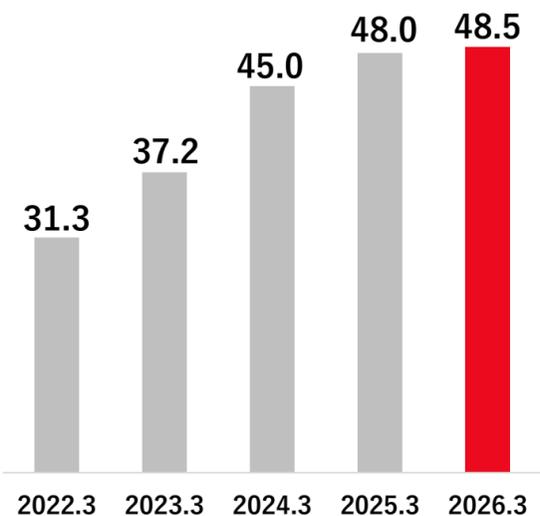
*1 '10.3期-'19.3期：米国会計基準、'20.3期-'25.3期：国際財務報告基準（IFRS） *2 資本資産価格モデル(Capital Asset Pricing Model)に基づく当社推計

(ご参考) 業績推移

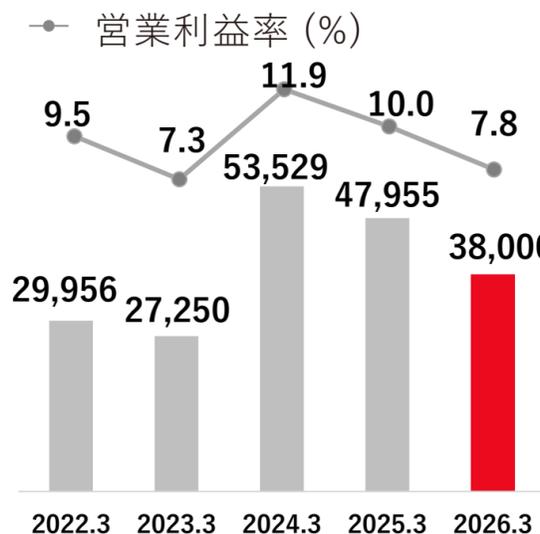
連結販売台数 (千台)



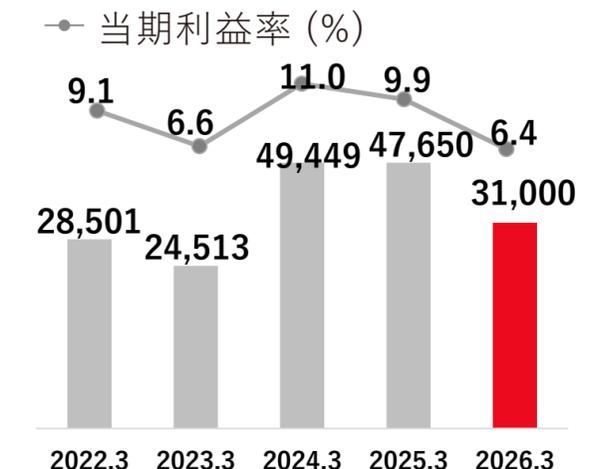
営業収益 (兆円)



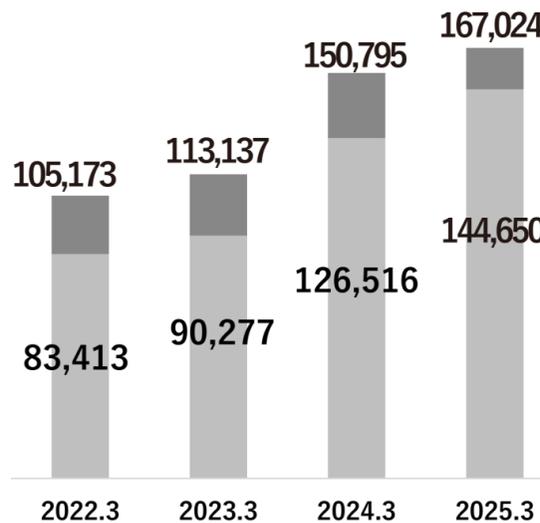
営業利益 (億円)



親会社の所有者に
帰属する当期利益 (億円)



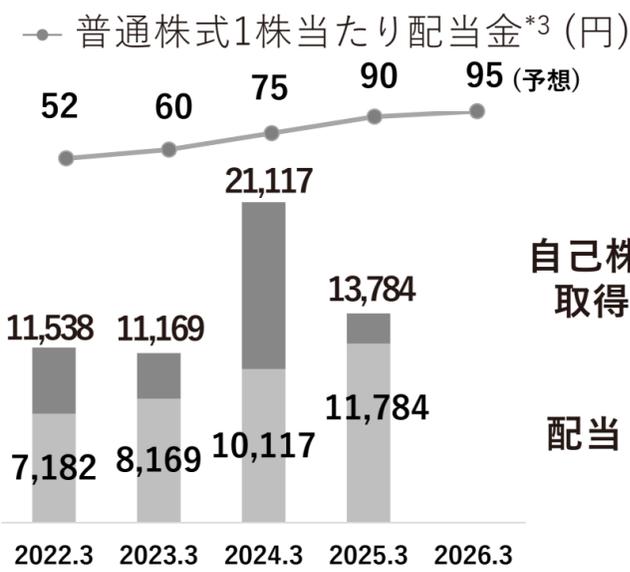
総資金量*1 (億円)



有利子
負債*2

ネット
資金量

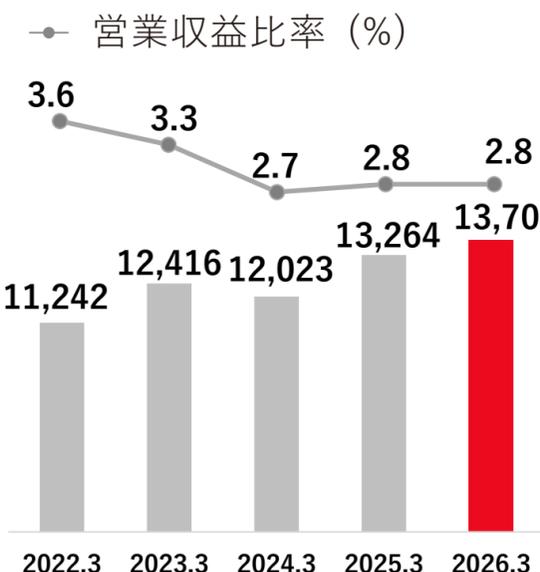
総還元額 (億円)



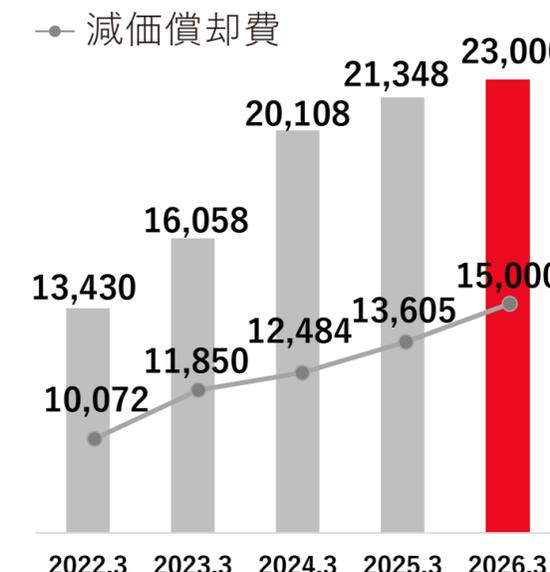
自己株式
取得

配当

研究開発費*4 (億円)



設備投資 (億円)



*1 金融事業を除いた、現金および現金同等物、定期預金、公社債および信託ファンドへの投資

*3 1株当たり配当額は株式分割（当社普通株式1株につき5株の割合で2021年10月1日に実施）後ベース

*4 報告期間中に発生した研究開発活動に係る支出額

*2 リース債務は含まない

■ 見通し

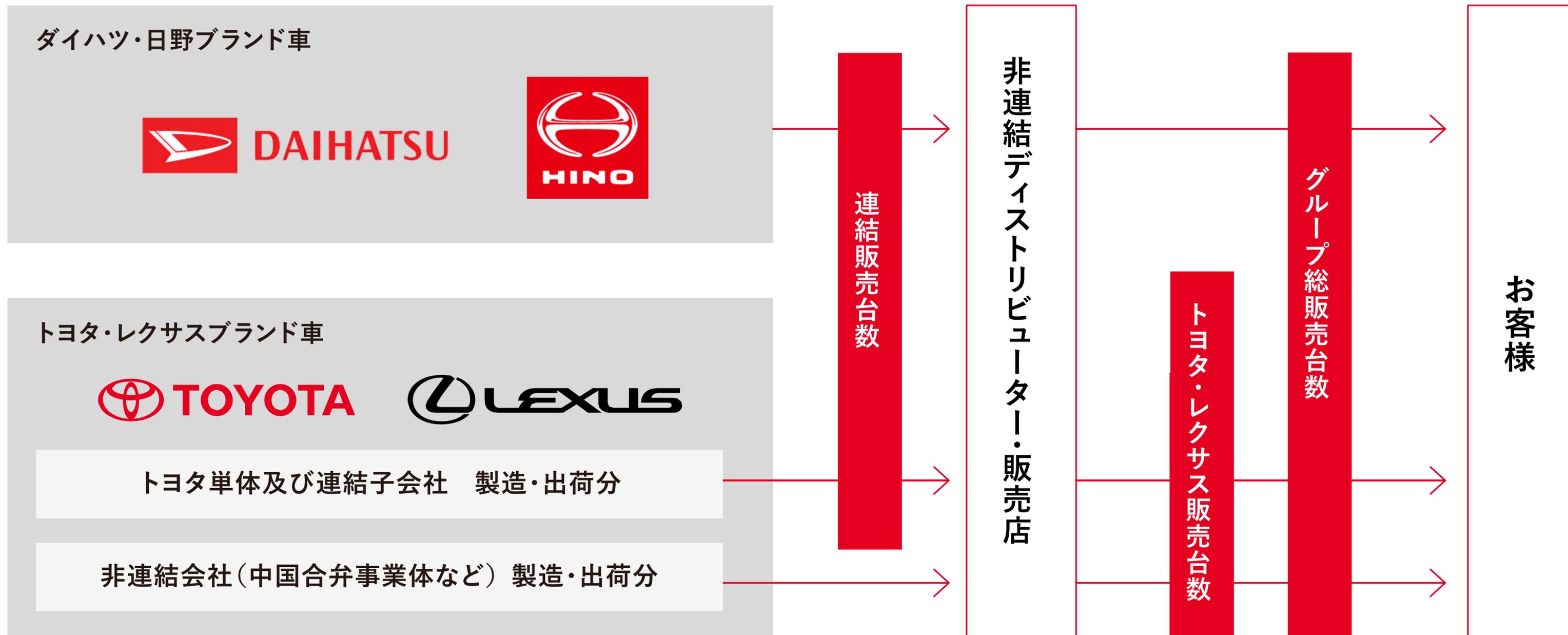
(ご参考) 台数見通し

(単位：千台)

		‘25.3期 実績 2024.4-2025.3	‘26.3期 見通し 2025.4-2026.3	増減
トヨタ・レクサス	生産 *	国内	3,236	+ 114
		海外	6,443	+207
		合計	9,679	+ 321
	販売 (小売) *	国内	1,505	△5
		海外	8,768	+ 132
		合計	10,274	+ 126
グループ総販売(小売) *		11,011	11,200	+ 189

* 非連結会社による台数を含む

(ご参考) 販売台数について



*一部例外的に、上記フローに当てはまらないケース有り